

ウォールブロック工法

本技術は、保護壁面材付きの軽量盛土工法である。従来のEPS工法での壁体は、H鋼支柱に(基礎付)セメント版を用いていたため、運搬や搬入、設置などの施工性や部品数の多さに伴う設置手間等の課題があった。本技術では、EPSブロックに軽量コンクリートを直接接着することにより、壁体と盛土を同時に施工できるようになり、施工性・経済性が向上する。

EPSブロックの積み重ねは、人力で可能であるため、機械などの騒音や振動がなく周辺環境への影響を抑制することが可能であるとともに、重機搬入が困難な山岳地帯や官民境界の制限が厳しい場所での施工が可能となる。また、壁体と盛土を同時施工できるため工期短縮効果が期待できる。

